

|                            |   | ページ       |
|----------------------------|---|-----------|
| <b>SKYLIGHT</b><br>〈今月の焦点〉 | 超新星残骸と宇宙線加速   | 富田 洋 608  |
| <b>EUREKA</b><br>〈研究紹介〉    | 銀河系の回転とダークマター   | 本間 希樹 617 |
| 天球儀<br>〈読物〉                | 天体名の正しい表記について<br>— 「バベルの塔」を築かないために—                       | 西村 史朗 624 |
|                            | <b>SETI@home</b><br>—分散処理による地球外生命体探索—                     | 立川 崇之 628 |
| シリーズ                       | 《 <sup>そらと</sup> 天空翔ぶ天文台(10)》<br>そして、宇宙からの天文観測の未来へ        | 上野 宗孝 634 |
| 雑報                         | 天文教育フォーラム<br>「古くて新しい問題：OD問題の現状<br>～天文学会研究者人口調査から見えてくるもの～」 | 636       |
|                            | 日本天文学会 早川幸男基金による<br>渡航報告書                                 | 638       |
| 年会                         | 日本天文学会 2000 年春季年会のお知らせ                                    | 639       |
| 月報だより                      |   | 646       |

[ 表紙説明 ]

ASCA 衛星の GIS カメラで取得された超新星残骸 SN 1006 の X 線写真 (エネルギーバンドは 0.7-10.0keV)。明るい部分は  $10^{14}$ eV まで加速された高エネルギー電子がシンクロトロン放射で輝いている。宇宙線の加速現場の決定的な証拠写真といえるだろう。γ線 ( $\sim 10^{12}$ eV) でも同様な証拠が得られている。リング状 (シェル状) に見えるのは「フェルミ加速」と呼ばれるメカニズムで加速が行なわれていることを示唆する。ASCA 衛星は他の超新星残骸からも同様な高エネルギー電子の存在を示すデータを得ている。 (SKYLIGHT 参照)

(表紙イラストレーション：藤居保子)